



現場ネクスト株式会社
事業紹介

「現場経験」を活かしたデジタルプラットフォームを実現



創業者 グローバルCEO
ブシィ・アシシュ



世界最高峰のインド工科大学
で培ったソフトウェア技術



グローバル空調メーカーでの
現場・DX推進経験



最高のプラットフォームでの
クラウド技術とビジネス理解



現場ネクスト社の概要

本社	東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント1F
インド拠点	GenbaNEXT Limited (inside Awfis Premises), MyScape Weave, Financial District, Nanakramguda, Hyderabad, Telangana 500032
経営チーム	創業取締役・グローバルCEO ブシィ アシシュ 代表取締役・CFO 浜崎 義樹
従業員数	日本：2名＋業務委託3名（法務・知財等） インド：11名＋業務委託5名（システム開発連携）
資本金	105,400,000円（2024年5月31日時点）
設立	2022年7月
主な事業内容	「現場経験」を活用したデジタルプラットフォームの開発・提供 カーボンクレジット等を活用したビジネスエコシステムの企画・構築



現場ネクストが実現したいこと

私たちは、現場から経営層まであらゆるステークホルダーのデジタルトランスフォーメーションを支援するプラットフォームを提供し、地球環境と人にやさしい循環型ビジネスを実現します。

持続可能性を追求し、革新的なソリューションを通じて社会的価値を創造することにコミットしています。



プロダクト全体像

現場DX支援の共通基盤「GenbaNEXT DX Platform」をベースに
「現場DX」「資源循環」に関するバーティカルSaaSを構築、提供

RefNEXT MatNEXT AirNEXT

空調機等の
冷媒の回収、
再生・破壊業務の
DXを支援

自動車等の
資源の回収再生
業務の
DXを支援

空調機等の
アフター
メンテナンス
業務のDXを支援

...

GenbaNEXT DX Platform



強み① 現場の知見に基づく「みんな使える」システムの提供

現場のニーズを何より重視し、実務に最適化されたシステムを構築

現場から中小企業、大企業まで幅広く対応

初期段階から大手パートナー企業と連携を図ることで高品質を実現

大手企業

循環型ビジネスをつくりたい、DXでコスト削減したい
資源管理、法令対応等のため必要な情報のみ欲しい

大手企業

循環型ビジネスや資源管理に必要なデータが揃う
DX化によるコスト削減も実現

ニーズが異なるため

それぞれが分断されたシステムに

現場

費用はほぼかけられない
業務フローを変えたくない

中小企業

高価なシステムは導入できない
データをすべて開示したくない

すべてのステークホルダーの
ニーズを満たし「循環」を実現

現場

費用はほぼかけず
既存フローのままDX

中小企業

負担のない費用でデジタル化
データは必要な分を開示



強み② インドを中心とした優秀な開発チーム

インドはIT先進国で優秀人材が豊富。先進国比で費用対効果の高い開発が可能
グローバル企業向けの導入に必要な多言語対応も容易に行える体制を整備



※2024年5月末現在

強み③ システム基盤の共通化によるメリット

「GenbaNEXT DX Platform」を共通基盤として活用し
モジュール型でバーティカル製品を迅速かつ経済的に開発可能
この共通基盤は循環型ビジネスにも適した構造を有し、
持続可能性を重視したソリューションの提供が可能



GenbaNEXT DX Platform



RefNEXT

プロダクト紹介

本プロダクトの価値

空調機や冷凍冷蔵機器は、代替フロンを冷媒として使用しているが、これらの冷媒が、大気中に放出された際の地球温暖化への影響はCO₂の数百倍から数千倍とされている。

2050年までに世界の空調需要が現在の3倍に増加すると予測されており、使用済冷媒の適切な管理が急務である。

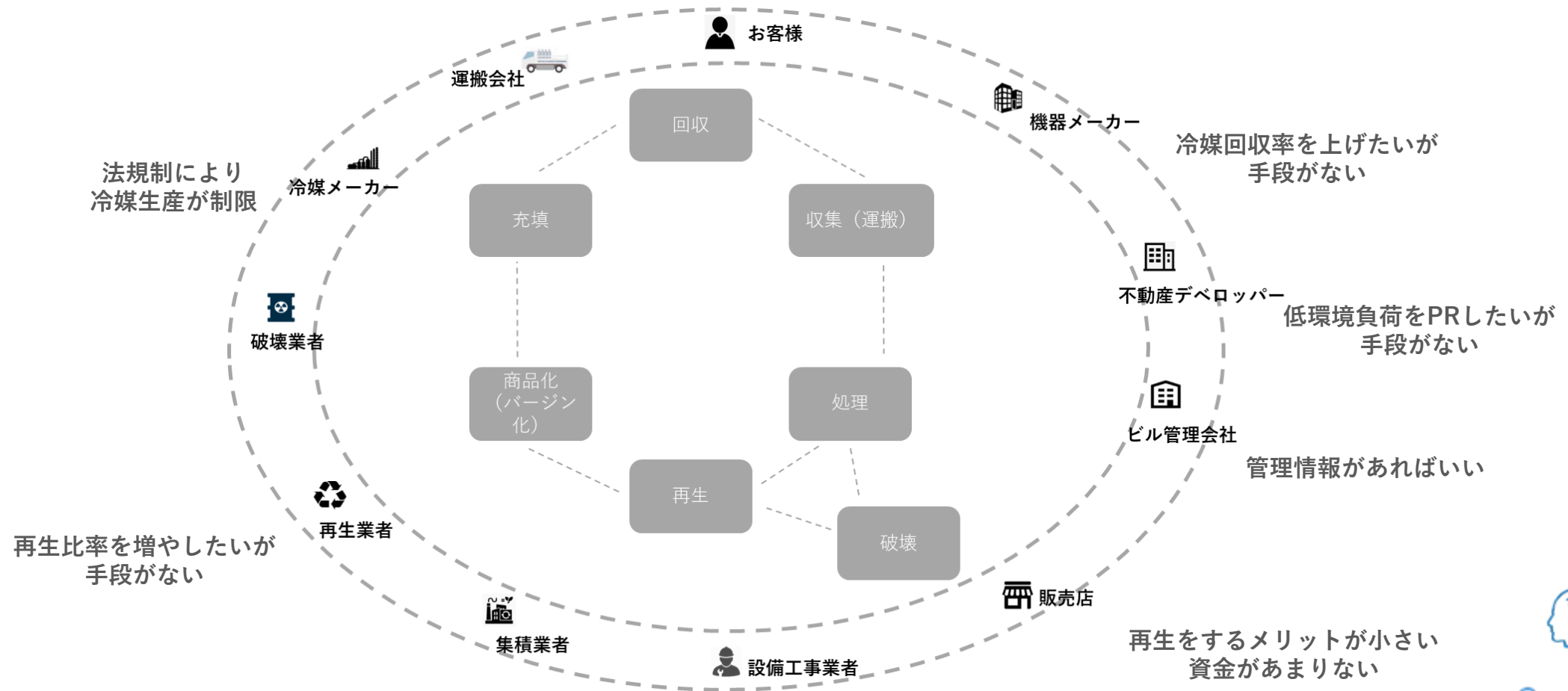
しかしながら、世界中、特に発展途上国においては、機器廃棄時の冷媒の回収、適切な破壊処理、再生利用はまだ進んでいない。

現場ネクストは、DXプラットフォーム“**RefNEXT**”を用いて、冷媒の回収、破壊、再生業務を支援することで、進行する地球温暖化の支援に貢献する。



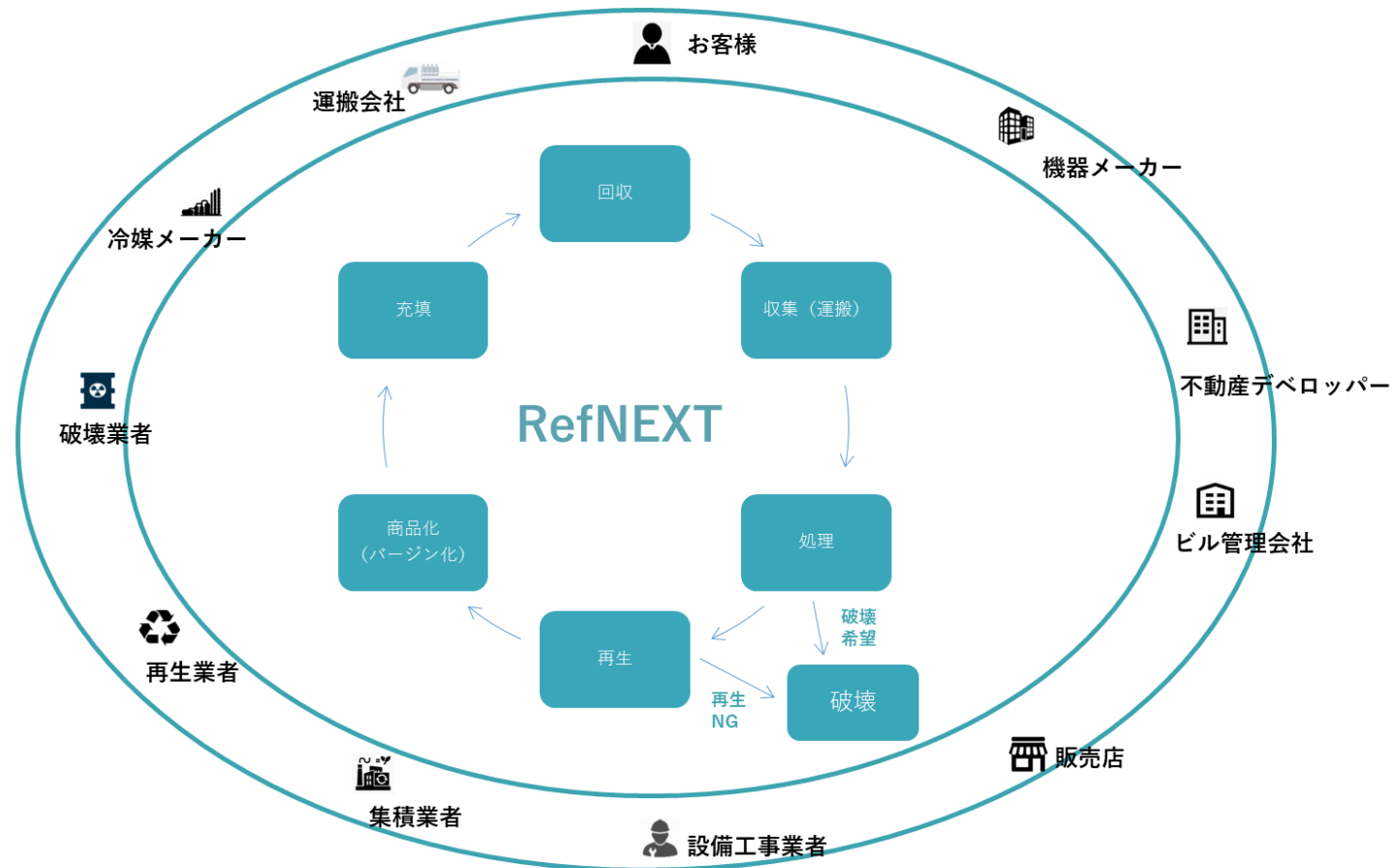
現状の課題

ステークホルダーごとのニーズが異なり、システムや情報が分断
途上国においては再生に関わるインフラ自体が構築されていない



RefNEXTの提供するソリューション

あらゆるステークホルダーの業務を支援する
DXプラットフォーム「RefNEXT」によりモノ・情報が循環



RefNEXTのイメージ

冷媒関連業務に必要なすべての機能を提供
利用者によりブラウザアプリとスマホアプリを使い分ける

管理者が利用



ブラウザアプリ

現場作業で利用



スマホアプリ
(iPhone, Android対応)



循環ビジネスに必要な情報を一元管理

管理者は循環ビジネスや法令対応に必要な集計情報を容易に確認可能

RefNEXT
Powered by GenbaNEXT

- ホーム画面
- ユーザー
- 容器
- 工事・各種依頼
- 報告書
- データ表示
- 累積
- マップ



ブラウザアプリ

ようこそ！ 様！

冷媒量:

冷媒種類 → 段階 ↓	R-410A	R-32	R-22	R-404A	R-134a	R-407C
回収量 (Kg)	302,243.38	41,990.43	30,463.81	1,959.5	6,899.1	26,832.91
再生量 (Kg)	186,003.66	10,028.66	6,972.94	55.2	621.4	458
破壊量 (Kg)	99,356.53	30,072.53	21,869.02	1,737.35	5,844.45	25,052.97
GWP	2,087.5	675	1,810	3,921.6	1,430	1,773.85
CO2換算 (Kg)	630,933,055.75	28,343,540.25	55,139,496.1	7,684,375.2	9,865,713	47,597,557.4
合計 回収量 (Kg)						410,389.13
合計 CO2換算 (Kg)						779,563,737.7

冷媒種類 → 段階 ↓	R-410A	R-32	R-22	R-404A	R-134a	R-407C
回収量 (Kg)	302,243.38	41,990.43	30,463.81	1,959.5	6,899.1	26,832.91
49条処理依頼量 (Kg)	93,837.66	12,676.18	5,718.31	72.9	2,810.3	8,030.29
再生量 (49条処理理由) (Kg)	78,880.85	2,183.83	2,374.18	0	0	0
破壊量 (49条処理理由) (Kg)	12,369.47	10,342.9	2,732.94	72.6	2,802.55	7,995.7
直再生依頼量 (Kg)	107,122.81	7,844.83	4,598.76	55.2	621.4	458
直破壊依頼量 (Kg)	86,987.06	19,729.64	19,136.08	1,664.75	3,041.9	17,057.27

冷媒種類 → 段階 ↓	R-410A	R-32	R-22	R-404A	R-134a	R-407C
直再生依頼の破壊判断量 (Kg)	452.06	264.06	0	37.11	229.9	443.67
49条処理依頼の回収時再生依頼の破壊判断量 (Kg)	1,926.4	103.25	576.45	0.3	0.45	0.25
直破壊依頼の再生判断量 (Kg)	7.49	1.71	38.5	0	0	0
49条処理依頼の回収時破壊依頼の再生判断量 (Kg)	463.37	18.05	2.54	0	0	8.84

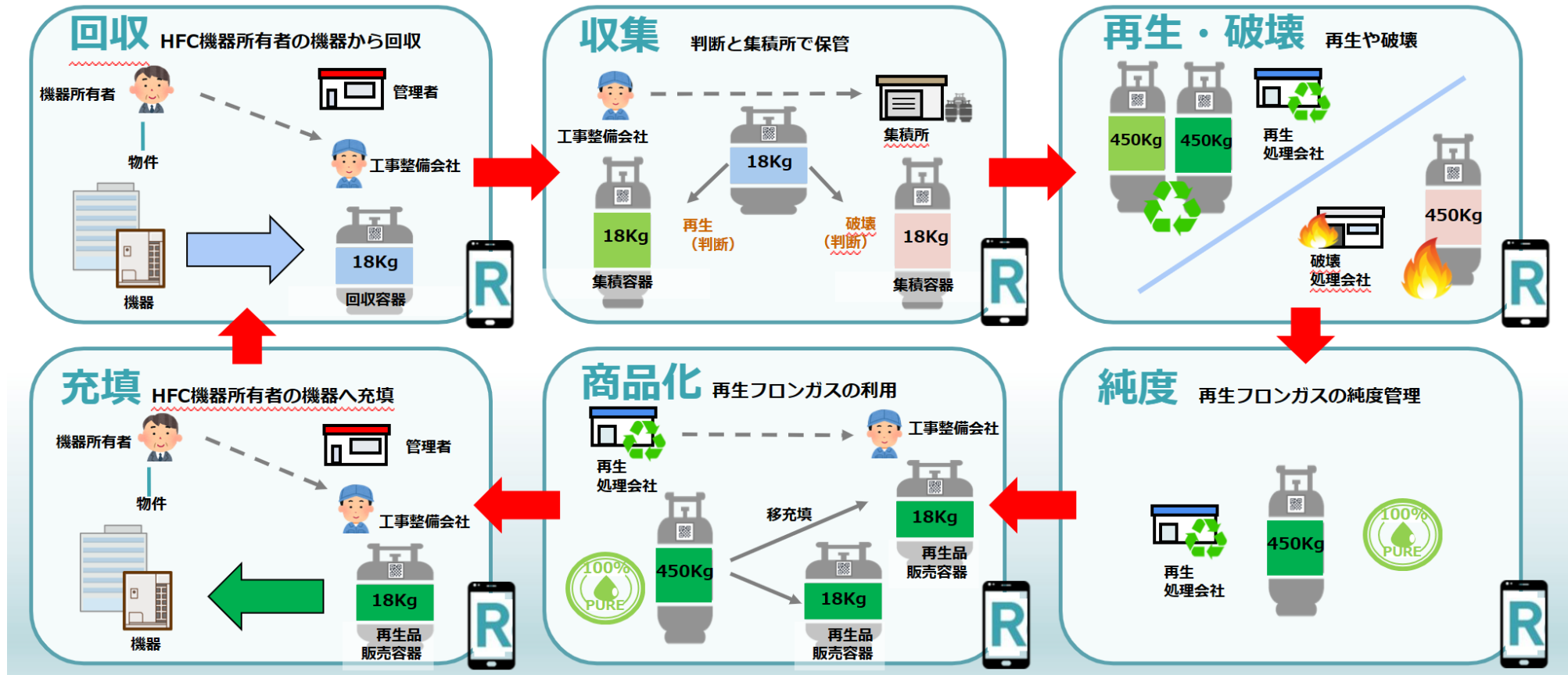
© 2022 現場ネクスト株式会社



GenbaNEXT

RefNEXTの利用イメージ

冷媒の回収、再生・破壊に関わる各企業がRefNEXTで情報を管理
別工程において必要な情報がスムーズに共有される



ユーザー様からの声

開発スピードや現場への入り込みを感謝いただいています！



大手空調機器メーカー
ご担当者様

最初にアイデアが出てからの**開発スピードが驚くほど速かった**。
現場の声を聞き、システムの要求仕様の構想まで入り込んで
いただき感謝している。サービスを利用し始めて間もないので、
まだ完成系ではないが、今後一緒にブラッシュアップしていきたい。



冷媒再生処理会社
ご担当者様

従来紙での処理が当たり前で、都道府県ごとに報告書を作成する必要がある等、莫大な手間がかかっていた。システムを導入してからは、**クリック一つで自動で集計**されるようになった。**工数削減分を他の業務に充当でき、大変助かっている**。

事業概要

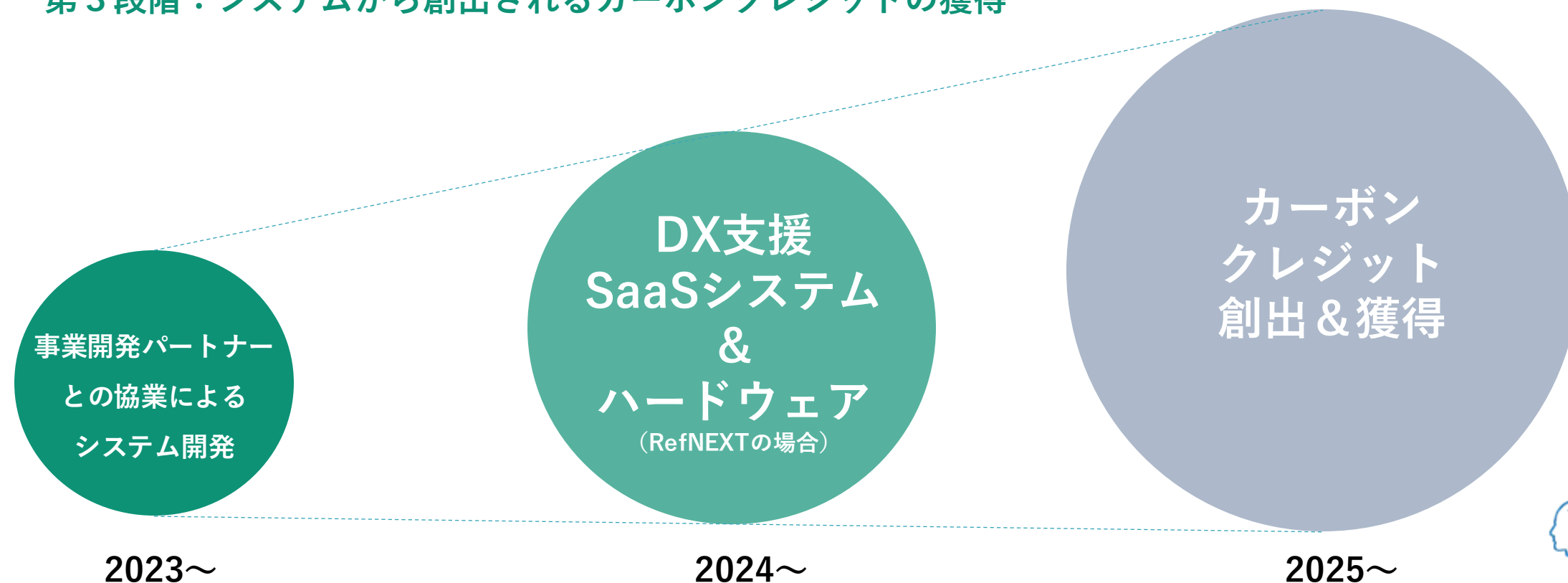
ビジネスモデルとビジネスロードマップ

資源循環型DXプラットフォームの開発・提供がコアビジネス

第1段階：事業開発パートナーとの協業を通じたシステム開発売上

第2段階：システム（SaaS）利用料や運用インフラの提供売上

第3段階：システムから創出されるカーボンクレジットの獲得



当社のビジネスモデルの競争優位性

当社外部要因

- 強み① 初期段階から大手パートナー企業と連携
- 強み② グローバルな現場ニーズ・実証機会を確保
- 強み③ 循環型ビジネス領域に特化

事業開発パートナー（リードユーザー）との
資本業務提携を行うことで、共創意識が高まり
最速・最善・最高のビジネスシステムを構築・提供できる

当社内部要因

- 強み① 現場の知見に基づく「みんな使える」システムの提供
- 強み② インドを中心とした優秀な開発チーム
- 強み③ システム基盤の共通化によるメリット





GenbaNEXT